



加吉だより

加吉小学校通信
令和6年1月号
No.37 (353号)

「チーム担任制」教師の精神的負担の減少！

～取組の成果③～

校長 吉田 博明

<担任の精神的なプレッシャーが減少！>

毎年4月1日になると決まる学級担任。教師は、その瞬間から、楽しみもありますが「自分の学級をしっかりとまとめないといけない！」と、大変なプレッシャーに襲われます。でも、チーム担任制になると、そのプレッシャーが全くなくなったと言います。チーム担任みんなで、同じように責任を負うからです。同じ責任を負ってくれる仲間がいるということは、精神的に非常に安心できるのです。

<経験の浅い教師でも、6年生の担任ができる！>

小学校の最高学年の6年生。学校運営にも大きく関わる責任の重い学年です。自然と経験の豊富な教師が担任を任されることが多くなります。特に本校のような小規模校ではなおさらです。若い教師に経験させたくても、なかなかできないというジレンマに陥っていました。でも、チーム担任制は大丈夫！経験豊富な教師みんなでサポートしながら、若い教師に経験させることができます。昨年度も、初めて6年生を経験する教師に修学旅行と卒業式を担当してもらいました。でも、すべてをその教師一人が背負う必要はありません。担任は一週間で交替していきますから、いろんな教師が修学旅行と卒業式の指導をしていきます。その指導方法を見て学びながら、自分の指導に活かしていくことができます。まさに効果的なOJTです。同じように、チーム担任制なら、どんな学級でもみんなで力を合わせて担任することができます。

<教師の強みが活かされ、弱みが消える！>

今までの学級担任制なら、担任がすべての業務を1人でしないといけませんでした。でもチーム担任制は教師の得意な役割を分担することで、より負担が少なく効果的な指導をすることができます。児童にとっても、それぞれの教師の得意分野を活かして教えてもらうことができるので、その方が良いですね。教師にとっては、自分の苦手な分野（弱み）を得意な教師に任せることで、自分の弱みが「0」になってしまうのです。不思議ですが、得意な教師の影響は強く児童に浸透していく気がします。気がつけば、自然と良い影響（スリッパを揃えるとか）が児童の中に広まっているのです。教師自身の弱みは他の教師に任せ、自分の強みでお返しをする。これもチーム担任制の強みです！

教師の業務負担の減少

1. 精神的負担の減少

- ・年度当初の学級担任のプレッシャーから解放
- ・6年生担任の負担軽減
～初めてでも6年生担任が可能～
- ・指導が難しい学級でも、チーム担任全員で責任を負う
～「学級担任の壁」がなくなる～

教師の業務負担の減少

1. 精神的負担の減少(強みが活かされ、弱みが消える)

・合唱の指揮
・スリッパ、上靴